

AEON

第 52 期

中間報告書

2022年3月1日 ▶ 2022年8月31日



 株式会社ジーフット

証券コード：2686

■ 経営理念

足元からのスタイル提案業

健康的で履きやすい魅力的な靴をリーズナブルに提供すること。

私たちジーフットは、その経営理念に「足元からのスタイル提案業」というスローガンを掲げながら、フットウェアのリーディングカンパニーとしてこれからの時代を先取りするグローバルな展開をスタッフ全員で目指していきます。

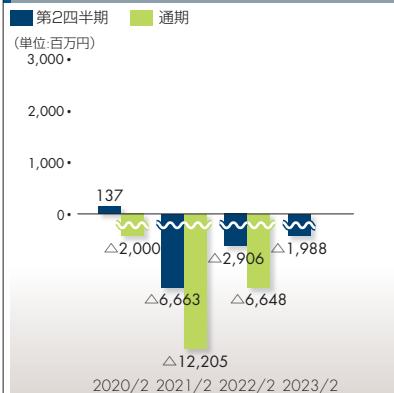
■ 財務ハイライト

	2020/2 (第2四半期)	2020/2 (期末)	2021/2 (第2四半期)	2021/2 (期末)	2022/2 (第2四半期)	2022/2 (期末)	2023/2 (第2四半期)
売上高 (単位:百万円)	48,803	89,089	33,582	65,849	34,650	66,266	33,009
営業利益 (単位:百万円)	137	△2,000	△6,663	△12,205	△2,906	△6,648	△1,988
経常利益 (単位:百万円)	150	△1,994	△6,664	△12,218	△2,952	△6,802	△2,088
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (単位:百万円)	△319	△4,453	△6,861	△12,716	△3,127	△7,142	△2,136
1株当たり 四半期(当期)純利益 (単位:円)	△7.52	△104.68	△161.29	△298.90	△73.51	△167.87	△50.21
1株当たり 純資産額(BPS) (単位:円)	522.71	415.85	246.01	102.93	29.99	△64.25	△113.80
総資産 (単位:百万円)	58,952	53,194	45,272	44,006	42,046	43,318	37,659
純資産 (単位:百万円)	22,253	17,707	10,482	4,393	1,290	2,281	173

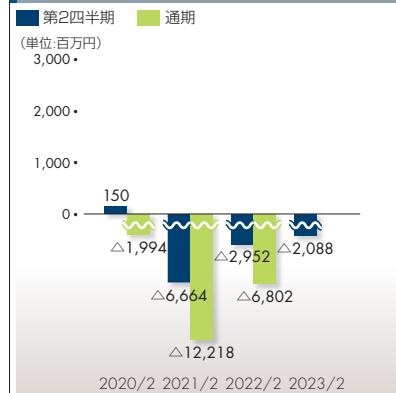
売上高



営業利益



経常利益





代表取締役社長

木下尚久

当第2四半期連結累計期間（2022年3月1日～2022年8月31日）における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」という。）の収束時期は不明確な状況であるものの、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う行動制限の緩和等による経済の持ち直しが期待される一方、急激な円安による為替相場の変動に起因する原材料価格の高騰等、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループにおいては、新型コロナの影響により毀損した自己資本の増強と安定した財務基盤による経営基盤の再構築を実現させるべく、「確実な事業収益力の回復」と「新たな成長を促すデジタルシフト」を重点施策に掲げ、当連結会計年度より3つの改革（事業構造改革、MD構造改革、組織・コスト構造改革）に沿った事業再生計画に取り組んでおります。

このような状況の下、当第2四半期連結累計期間においては、足元の止血策となる不採算事業・不採算店舗の整理と、現状の厳しい環境下においても利益をあげている店舗の改装をもってアスビーブランドへの統一を進め、利益店舗への経営資源集中による事業効率、販売効率の最大化を進めてまいりました（事業構造改革）。不採算事業・不採算店舗の整理では、閉店

候補店舗の今後の方向性や閉店タイミング等を店舗毎に再検討の上、今後利益が見込めないと判断した24店舗の退店を実施、当第2四半期連結累計期間末における当社グループの店舗数は756店舗（個別店舗数749店舗）となりました。

また、アスビーブランドへの統一を目指した店舗改装（以下、「アスビー統一」という。）においては、当第2四半期連結累計期間に3店舗の改装オープンを行い、地域のお客さま情報に基づいた品揃えや接客販売重視の店舗オペレーション等により、コロナ禍前の水準（2019年）を上回る好調な販売実績となっております。今後のアスビー統一については、9月のアスビー鳥取北店（鳥取県鳥取市）、アスビー板橋店（東京都板橋区）のオープンを皮切りに、下半期よりスピードを上げた本格的な展開拡大を計画しております。

一方、既存店舗については、新型コロナ感染拡大防止に伴う行動制限緩和による客数の回復と、店舗特性に応じて細分化させた品揃えによる売上拡大（MD構造改革）を計画いたしました。しかしながら、新型コロナ第7波の影響等による感染が爆発的に全国に拡大したことから客数が当初想定から大きく乖離、また店舗特性に応じた品揃えについては、アスビー統一を目指した改装店舗等、一部の店舗で成果をあげることが出来たものの、大半の店舗においては、当社が目指すお客さまニーズや市場トレンドへ応える品揃えの水準まで至らず、中国・上海市のロックダウンによる商品展開遅れの影響も加わった販売機会の減少を招き、営業継続店舗の賃料減額や間接部門のコスト削減（組織・コスト構造改革）による販売費及び一般管理費の削減（前年同期実績より16億2百万円減）を行ったものの、売上高減少に伴う荒利高の減少を補うまでには至りませんでした。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高330億9百万円、営業損失19億88百万円（前年同期は営業損失29億6百万円）、経常損失20億88百万円（前年同期は経常損失29億52百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失21億36百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失31億27百万円）となりました。

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



1株当たり四半期(当期)純利益

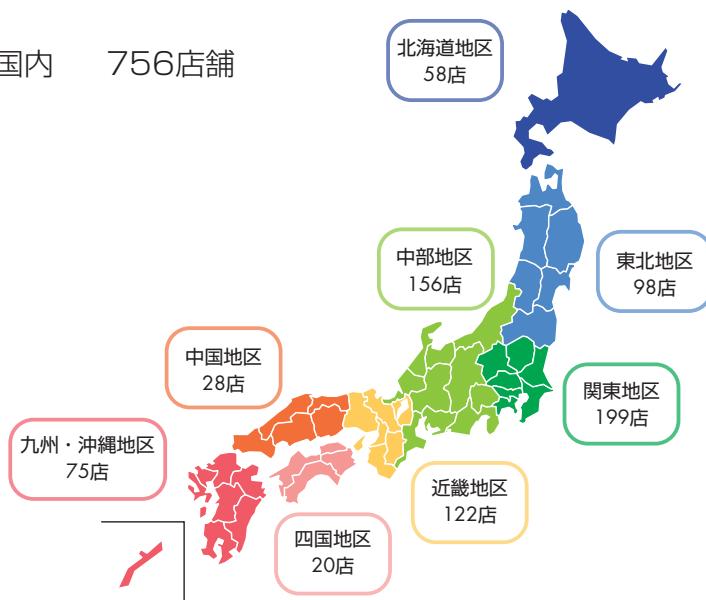


1株当たり純資産額(BPS)



店舗一覧

国内 756店舗



新アスビーのご紹介



お客さまから「またあのお店に行きたい、またあの人から買いたい」と信頼される店舗を目指し、本年よりジーフットの総力を集結させた新アスビーの展開をスタート。地域のお客さま情報に基づいた品揃えとジーフット独自の接客サービスで、今まで以上に楽しい靴選び体験を全国へ展開中。



本年9月オープンのアスビー板橋店(東京都板橋区)、10月オープンのアスビー茨木店(大阪府茨木市)では、株式会社ダブルエーが取り扱う「ORiental TRaffic」、「ORTR」が品揃えに新登場。今期中に10店舗での展開を予定しております。

トレーディングポストのご紹介



「日本に知られていない海外の優れた靴を紹介するセレクトショップ」をコンセプトに、お客さまのライフスタイルに合わせた靴選びやフィッティングのお手伝いから、ご購入後のリペア・メンテナンスまで、お客さまに寄り添ったご提案を行うセレクトシューズショップ。

■プライベートブランドのご紹介

「ATHREAM」アスリーム



幅広設計、防水・耐水機能など充実の機能と履き心地を追求する「ATHREAM」多様化するファッションに対応するデザイン、魅力的なプライス設定でハイパフォーマンスな商品を提案。

「heal me」ヒールミー



ちょうど良いが心地良い。歩きやすさ、履き心地にこだわりながら、デザインにも気を抜かない。ポジティブに現代を生きる女性を足元からサポートするシューズコレクション。

「MADFOOT!」マッドフット



お子さまの健やかな成長を支えるキッズシューズ「MADFOOT!」通気口付きや防水機能、幅広設計など、それぞれのお子さまに必要な機能を備えた商品を多数ラインナップ。

■接客・サービスのご紹介

足型計測器「フットナビ」



約10秒足を置くだけで、足長・足幅・足底圧・重心バランスが分かる「フットナビ」日々成長するお子さまの足にぴったりの靴を選ぶために定期的な足の計測をおすすめしています。

社内資格「フィッティングアドバイザー」



足や靴に関する知識と計測方法を学んだ「フィッティングアドバイザー」が足型計測の結果に基づいて、お客さまにピッタリな1足をご提案。お手入れ方法等もアドバイスいたします。

はっ水加工機「インボックス」



はっ水加工機「インボックス」は、靴を約1分間加工機へ入れるだけで靴へコーティングを施し、水や砂、泥による汚れからお客さまの大切な靴を守ります。

■ 四半期連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	第52期 2022年8月31日現在
資産の部	
流動資産	31,726
固定資産	5,932
有形固定資産	1,054
無形固定資産	582
投資その他の資産	4,294
資産合計	37,659
負債の部	
流動負債	34,302
固定負債	3,183
負債合計	37,486
純資産の部	
株主資本	274
資本金	3,756
資本剰余金	8,587
利益剰余金	△ 12,065
自己株式	△ 4
その他の包括利益累計額	△ 116
新株予約権	14
純資産合計	173
負債純資産合計	37,659

■ 四半期連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	第52期 2022年3月1日から 2022年8月31日まで
売上高	33,009
売上原価	19,066
売上総利益	13,943
販売費及び一般管理費	15,932
営業損失	△ 1,988
営業外収益	9
営業外費用	110
経常損失	△ 2,088
特別利益	208
特別損失	142
税金等調整前四半期純損失	△ 2,022
法人税等	113
四半期純損失	△ 2,136
親会社株主に帰属する四半期純損失	△ 2,136

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	第52期 2022年3月1日から 2022年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,039
投資活動によるキャッシュ・フロー	567
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,083
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 4,555
現金及び現金同等物の期首残高	5,841
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,285

■ 会社概要

商号 株式会社ジーフット
(英訳名 GFOOT CO.,LTD.)

設立 1971年10月

資本金 37億56百万円

従業員数 1,032名(他、フレックス社員3,150名)

本社 東京都中央区新川一丁目23番5号

事業内容 紳士靴、婦人靴、スポーツ靴及びインポート雑貨の販売

店舗数 756店舗

■ 役員

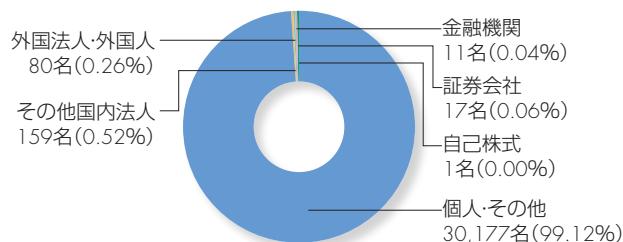
代表取締役	木	下	尚	久
取締役	井	上	紀	一
取締役	青	山	和	弘
取締役	湊		博	昭
取締役(社外)	柴	田	昭	久
取締役(社外)	荒	川	正	子
常勤監査役(社外)	笠	島	和	滋
監査役(社外)	越	山	滋	雄
監査役(社外)	下	山		宏
監査役	馬	場	俊	彰

■ 株式の状況

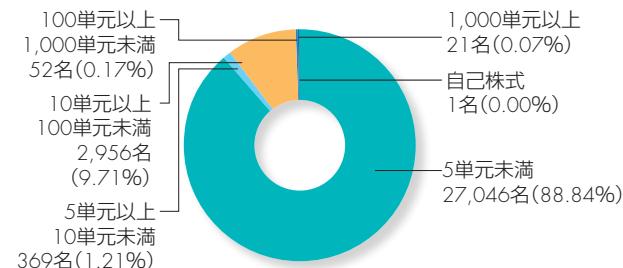
- 発行可能株式総数 144,000,000 株
- 発行済株式の総数 42,557,500 株
- 単元株式数 100 株
- 株主数 30,445 名
- 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
イオン株式会社	26,350	61.92
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社	960	2.26
有限会社高田	900	2.11

● 所有者別株主数



● 所有単元別株主数





■株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで	
定時株主総会	毎年5月	
基準日	定時株主総会の議決権	2月末日
	期末配当金	2月末日
	中間配当金	8月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
各種お問合せ先 郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 フリーダイヤル 0120-782-031 (代表)	
公告方法	電子公告 ただし電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載します。 (アドレス) http://www.g-foot.co.jp/koukoku.html	
上場金融商品取引所	東京証券取引所スタンダード市場及び 名古屋証券取引所プレミア市場	
単元株式数	100株	

株主優待制度のお知らせ

毎年2月末日及び8月31日現在の株主名簿に登録された100株以上所有の株主さまに対し株主優待券を贈呈。

所有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	株主優待券1,000円 (1,000円券1枚)
1,000株以上 2,000株未満	株主優待券5,000円 (1,000円券5枚)
2,000株以上	株主優待券10,000円 (1,000円券10枚)



ホームページも
ご覧下さい。



<http://www.g-foot.co.jp/>



本社 東京都中央区新川一丁目23番5号

